

◇————◇
公益社団法人 日本航空機操縦士協会
メールマガジン Vol.100/ 2022/6/15
◇————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
おかげさまで、Vol.100 を迎えました。
今後もお愛読いただければ、幸いです。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★—INDEX—★

- [1] 【三役コラム】 新たなモビリティサービス（概念実証）について
- [2] 【航空局】 横田飛行場周辺を飛行する VFR 機の安全確保について
- [3] 【VOICES FEEDBACK】
 <①Gear Lever と Flap Lever の操作取り違い><②ブラウンアウト>
- [4] 【お知らせ】 セミナー・イベント
- [5] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内
- [6] 【JAPA E-Journal 2022-002 CALLBACK 507 号和訳】
 運航技術委員会
- [7] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について
- [8] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

- ★————★
- [1] 【三役コラム】 新たなモビリティサービス（概念実証）について
 副会長 大澤 一郎

★————★

ビジネスジェットは、移動時間短縮や自由なスケジュール設定、プライベート空間の確保などが可能なことから利便性の高い移動手段として世界的に認知されています。

一方、日本市場は、ビジネスジェットへの社会的認知の低さ、インフラ・サービスの未発達により欧米諸国と比較して規模が小さく、まだまだ発展途上にあります。

日本には、定期便や長距離鉄道などによる移動が不便な地方都市が多く存在しますが、そうした都市間をビジネスジェットをと陸のモビ

リティを活用して結ぶことで、移動の大幅な効率化や地方活性化、遠隔地医療への対応などにも貢献できるのではないのでしょうか。

こうした中、陸と空のモビリティを連携させた新たな移動のサービスの概念実証運航を Honda が行うことがプレスリリースされましたので皆様に共有させていただきます。

ご興味の方は、<https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/62352> 本田技研工業株式会社のプレスリリース | PR TIMES から、お入りください。

今回の概念実証で、少しでも多くの個人や団体が、ビジネスジェットは一部の富裕層の乗り物であるという考えから自由で快適な移動の手段であり、地方活性化に貢献する手段であるとの認識に至り、ビジネスジェットを利用した様々な事業が大きく発展することを願っております。



[2] 【航空局】 横田飛行場周辺を飛行する VFR 機の安全確保について



本年5月中旬から11月30日までの間、米軍の高高度滞空型無人偵察機であるグローバルホーク (RQ-4) が横田飛行場に一時展開される予定です。当該グローバルホークは遠隔地からの無線操縦及び自律飛行プログラムにより無人での飛行を行うことから、横田飛行場周辺を飛行する VFR 機の安全を確保するため、VFR 機の操縦者は下記事項を確実に実施するよう、ご注意ください。

尚、本内容についてはノータムが発出される予定です。

詳細は HP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/7063>



[3] 【VOICES FEEDBACK】

<①Gear Lever と Flap Lever の操作取り違え><②ブラウンアウト>



<①Gear Lever と Flap Lever の操作取り違え>

左席 PM での離陸後の Gear Up 操作時に、「Gear Up」と呼称しつつ無意識で Flap Lever に手がいき、そのまま一段上の Flap 位置に Lever を操作してしまいました。操作してすぐに「間違った」と気づいて Flap Lever を元の位置に戻して Gear Up 操作を実施。Flap 位置はほぼ動かなかったと思います。この操作エラーに起因してと思われませんが、FMS は加速指示となり AFDS Pitch Bar は、通常の Acceleration Height より低高度で Pitch Down を指示。PF がこの AFDS 指示に惑わされることなく、通常の Pitch で離陸上昇速度を維持しつつ CMD Speed200kt を Order して速度制限を超過することはありませんでした。

このような間違いはこれまで経験がなく、その時に何かに気を奪われていたり、極度のストレスを感じていたわけでもありませんでした。コロナ禍の減便の影響で飛行機会が減っていたのは事実です。「久しぶりになるので、互いに注意して遠慮なく確認しながら運航しましょう」と Team で意識はしていました。しかしながら、無意識に近い Routine Work で手が「その辺りの位置」を覚えているが操作内容にズレが生じている状態で、確認をしっかりとしていない動作をしたことがこのような行動につながったのではないかと Team で振り返りを行いました。自分が「このような状況に陥ることがある」ということを認めて、操作する前に「もう一度それでよいかを確認する」ことで同じようなエラーを防ぐようにしようと思います。

★VOICES コメント

習慣化された Operation は、いつの間にか無意識下で行われていきます。形状を変えてレバーの操作エラーを防ぐようにできていても、100%防ぐことはできません。繰り返し行われる操作にはこのようなリスクがあることを理解する必要がありますね。

また左席が PM の場合、Flight のモニターが気になる、Lever までの位置が遠いなど、操作エラーにつながる要因に留意する必要がありますね。過去にも同種事例が報告されていますので参照してください。(FEEDBACK 2018-3-60)

<②ブラウンアウト>

ヘリコプターで場外離着陸場に離着陸のためアプローチを試みた

ところ、砂塵が今まで経験したことがないくらい物凄く舞い上がり、着陸帯および近くの道路が砂塵でブラウンアウトになってしまった。

★VOICES コメント

場外離着陸場での離発着においては常にブラウンアウトを考慮して運航する必要があります。予測と兆候の発見に努めるとともに、回避行動の腹案を持つことが大切ですね。可能であれば散水できれば良かったですね。



[4] 【お知らせ】 セミナー・イベント



《RNAV 講演会》

2022年6月26日

※会場参加かオンライン参加を選択の上、お申し込み願います。

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=2>

《航空安全講習会》

6月25日 熊本開催

7月23日 東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

《Fly with us～空の仕事ワークショップ～》

6月25日 愛媛開催（開催中止となりました）

《（前後半）第16回 TEM/CRM セミナー基礎コース》

6月29日～30日 東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

《セミナー・講習会受講に際しての注意事項》

JAPA が主催するセミナー・講習会等のイベント開催につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するためご参加のみなさまへの注意事項や連絡事項を取り決めいたしました。

セミナー・講習会へのご参加にあたりましては、以下内容をご確認いただきますようお願いいたします。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2020/06/japa20200618.pdf>

尚、その他のセミナー・イベント情報に関しましては随時ホームページ及びメールマガジン等でご案内致しますので、少々お待ちくださいようお願い申し上げます。

★

[5] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内

★

2022 年版 学科試験スタディガイド販売開始のお知らせ。

ご注文については以下 JAPA SHOP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>

★

[6] 【JAPA E-Journal 2022-002 CALLBACK 507 号和訳】
運航技術委員会

★

【JAPA E-Journal 2022-002 CALLBACK 507 号和訳】を公開
しております、ぜひご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/e-journal>

★

[7] 【お知らせ】協会事務局の勤務体制について

★

協会事務局では首都圏での新型コロナウイルスへの感染リスクを考慮し、今後の勤務体制を以下の通りといたします。

期 間：6月15日（水）～（終了に関しては別途お知らせいたします。）

出勤日：月曜日-金曜日（祝日を除く）

時 間：10：00-16：00

★

[8] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★

JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページより、ご覧ください。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member.japa.or.jp/member>

* * * * *

★次回の配信は7月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
